





可部出張所管内	松田 さん
観察月日	連絡事項等
<p>7月 4日 14:00~15:00 晴れ時々曇 気温 28℃</p>	<p>高瀬堰下流側(右岸)を自然散策しました。河川環境の様子をレポートします。          ・昨年?掘削された低水敷には、植生が回復しつつあった。          ・植生は、ヤブガラシ、カラムシ、セイタカアワダチソウ、ネズミホソムギなど外来種を含む多年生草本が中心だが、ヤナギ類やクワの伐木からの芽生えも伸長してきていた(写真1)。</p>  <p>写真1</p> <p>・堰直下の水際の裸地には、タデ類、ツクサ、イシミカワなどの一年生草本が一面に覆う中、ムシトリナデシコ(写真2)などの外来種も見られた。ヒルガオも花盛り(写真3)。</p>  <p>写真2</p>  <p>写真3</p> <p>・水際、砂礫底をタモ網で掬ってみました(14:10~30)。          採集結果は次のとおり。          カワヨシノボリ、チチブ、ドンコ(稚魚)、オナガサナエ、コオニヤンマ、キイロヤマトンボ、ハグロトンボ、ヌマエビ類、スジエビ類(幼生)、カワニナ、シジミ類(写真4)</p>  <p>写真4</p> <p>・ご参考までに昨年の同時期は、ウキゴリやオヤニラミ、シマドジョウ、ムギツクなどの稚魚も多く捕れたが、それに比べると種数、個体数、サイズも小さく印象だった。          今年は春先からの天候不順の影響もあるのか?アユ釣りの知人によると今年はサイズが小さく、病気も出ているという。</p>

- ・鳥類は19種を確認。いくつかトピックを挙げる。
- ・調査範囲(高瀬堰下流～川内自転車公園)内にオオヨシキリ4♂、セッカ3♂のさえずり(なわばり)を数えた。
- ・カワセミ2羽が鳴きながら連れ立ち飛翔していた。
- ・アオサギ、ダイサギ、ムクドリなどは中州や対岸のヤナギ林に多くの個体が集まっていた。
- ・その周辺の水際や水面には、カイツブリ、イソシギ、カワウ、などが少数見られた(鳴き声が聞こえた)。
- ・ツバメ、コシアカツバメの群れが川面を低空で飛び交い、中には水浴びする個体もいた。
- ・河川利用者は、散歩、家族連れの自転車公園利用、などがあった。

7月 11日  
16:00～30  
雨のち曇

雨のやみ間に川を見に行きました。  
太田川左岸の中島ポンプ場附近を写真撮影しました。  
天候が悪く増水中にも関わらず、河川利用者は少なくありませんでした。堤防の河川管理用道路(サイクリングコース)や高水敷でウォーキング、体操、釣り、犬の散歩、川を眺める、など多くの利用がみられました。



中島ポンプ場から下流側をのぞむ



中島ポンプ場から上流側をのぞむ



対岸の状況

7月 12日  
9:00～9:10  
雨  
気温 27℃

大雨警報が発令される中、出勤途上に様子を見ました。  
三川合流付近～高瀬堰～川内自転車公園付近。  
撮影写真のみですが、報告します。



三川合流付近



高瀬堰直上流



高瀬堰直下流



川内自転車公園付近



川内自転車公園より下流側

7月 15日  
8:00  
13:00~20  
雨

県南部にも、4日連続で大雨警報が出ています。  
家族による撮影写真を添付します。



朝の太田川橋付近



中島ポンプ場から下流側をのぞむ



中島ポンプ場から上流側をのぞむ



高瀬堰下流



川内自転車公園付近



同左

管理第一課からの意見・感想等

初めてのレポート有り難うございます。  
特に動植物の生息状況についての貴重な情報有り難うございます。今後とも季節変化による情報をお願いします。  
高瀬堰下流左岸の河原は、昨年まで柳等が繁茂していましたが出水時の流下阻害や下流へ流出する恐れがあるため伐採し希望者に配付いたしました。その影響により河原に生息していた植生に変化が見られ、春には山菜狩りを楽しめる植物が増えていました。  
7月11日からの豪雨の状況についての報告有り難うございます。出水により増水した河川は危険なため水際に近づかないようお願いします。  
これから1年間モニターを宜しくお願いします。